

## ヴェトナム 教会の春

Tran Dinh Tu 司教がシノドゥスにおいて日曜日のミサの高い出席率について話す数週間前に、ヴェトナム政府はハノイの神学校に入学できる学生の数を制限しないと約束した。それまでは2年ごとに10～15人しか入学を許可できなかったのである。

一ヶ月後、聖座はヴェトナムに新しい一つの教区を創設した。その公式の行事のために、福音宣教省の長官が当地を訪れた。この訪問の中で、Crescenzo Sepe 枢機卿は様々な教区を訪れ Phan Van Khai 首相と会見した他に、北部の8つの教区の神学生57人を司祭に叙階した。

これに続いて他にも叙階式があり、これによって司祭のよりよい配置とより密度の濃い司牧が可能になっている。さらに、大量の神学生、修道会の召し出しの増加、エイズ患者や高齢者や幼児、差別を受けている人々への司牧といった「問題」も解決されつつある。

### 枢機卿の印象

セベ枢機卿はローマに戻ってからバチカン放送で次のように語った。「(ヴェトナムで見たのは)ひとときわ活動的で生き生きとした教会でした。自己の信仰を自覚し、それを外に伝えたくて仕方がないといった教会です。キリストを愛し、キリストを自分のものと考え、教皇様の名前を聞くとき感動を隠し得ない教会です。なかでもこの世のあらゆる側面に関心を示し、社会的文化的な活動に参加しようとしている教会です」と。

枢機卿はこの訪問に目に見えて満足した様子で、当地で受けた暖かいキリスト教的歓迎に感動したと公言された。「成長する教会、非常に活動的な教会、自らを組織し、現在だけでなく未来を頭に入れて計画を立てることができる教会を私は見つけました。司祭と修道生活のために多くの召し出しを輩出している教会です。社会の問題にも積極的にかわり、たとえば病人、障害者、エイズ患者などの社会的弱者への奉仕に気を配っており、すべての分野に関わりを持ち、神の民全員がそれに参加しています」

政府との関係については、「ここ数年の間、政府は極めて重要な変化を見せ、教会の活動を承認する姿勢を示しました」と指摘する。また、首相から、今後新たな教区の創設があったとしても政府の側から障害を置かないという約束を得たことに言及し、「未来は極めて明るい」と結論した。

### 満員の神学校

ヴェトナムには教区の枠を越えた大神学校が六つある。1975年の共産革命の際、すべての神学校は閉鎖されたが、1987年にハノイとホーチミンの神学校が、1988年にはカントとヴィンロン(ともに最南端)の、1992年にはニャチャンの、1994年にはフエの神学校が再開された。

最初、政府は新入生の受け入れを6年ごとに限っていた。その後3年ごとにし、90年代の末には2年ごととなった。今年から少なくともハノイの神学校は毎年新入生を受け入れることができるようになった。

現在それらの神学校には1580人の神学生がおり、これで定員一杯となっている。志願

者の増大を前にして、司教たちは以前からさらに二つの神学校（タイビン、Xuan Loc）の増設を政府に申請しているが、未だに許可が下りていない。

ホーチミン神学校では南部の六つの教区から230人の神学生が勉強している。同市の教区長 Pham Minh Man 枢機卿は「場所が足りない」と嘆く。同司教区には800万の人口のうち80万人の信者がいる。今年の1月、政府から許可を得て、Xan Loc 教区の Long Khanh にある、かつて神学院として使われていた校舎を大神学校の分校にした。しかし、この古い建物が使えるようになるには、まだかなりの資金と時間が必要である。

枢機卿は「状況はハノイではさらにひどい。あそこでは授業をするための場所がない」と言い添える。実際、235人の神学生を抱えるハノイの大神学校は、今年43名の新入生を18キロ離れたサレジオ会の建物に移さねばならなかった。

ハノイの問題は深刻で、4月には入学希望者に試験をしたほどである。その試験は要理、福音書、ヴェトナム文学、外国語についてであった。「これらの科目の成績よりも、希望者たちの人格と志願の理由に細心の注意を払いました」と担当司祭は言う。さらに、この状況の積極的な面を示して、「たくさんの神学生を持てればうれしです。しかし、このような選別ができるおかげで、神学校での教育と養成の質を上げることができるのです」と胸を張る。

いずれにしても、場所の不足はさしずめ戦略上の問題にすぎない。司教たちの長年の真の憂い、教授陣の不足にある。教授の中には、自分の専門科目を教えるためにしばしば神学校から神学校へ移動しなければならない者もいる。このことで、肉体的に疲労するだけでなく、勉強のための時間も奪われる。

## 新しい教区

1月22日、聖座は Xuan Loc 教区からヴェトナム南部の Ba Ria の教区を独立させた。この新教区には22万5千人の信者と56人の教区司祭、35人の修道司祭、192人の修道士、61人の神学生、406人の修道女がいる。司教には、以前 Xuan Loc 教区の補佐司教を勤めていた Thomas Nguyen Tram 師がなった。

新教区開設のニュースはその二日前に政府によって発表されたが、「同地区に信者の数が多すぎる」とバチカンと司教団の申請が理由としてあげられていた。

この発表はハノイ政府の使節団によるローマ訪問の四ヶ月後のことであった。ヴェトナム政府の高官がバチカンを訪問したのは、1992年以来初めてのことで、「両者の相互理解を深めるため交流を増す」ことが目的として掲げられていた。それ以前にはほとんど毎年ハノイで話し合いが行われていた。最後の話し合いは2004年4～5月であった。

## 政府との関係

聖座とヴェトナム政府は外交関係を持っていないが、もう数年も前からこの定期的な接触をもつことによって、問題の多くを解決してきた。昨年7月、聖座は「外交関係の正常化に向けて迅速にことを運びたい」という希望をヴェトナム政府に伝えた。ヴェトナム政府も同じ望みを抱いていると判断できる。世界貿易機構に加入を望んでいる現在、その望みはさらに強いはずである。

ヴェトナムにおける教会は一定の自由を享受している。政府は、教会の社会的貢献、なかでも福祉事業における貢献を認めている。しかし、同時に司教の任命に関して、厳しく監視している。この問題はここ数年の聖座との交渉の主要課題であり、今日ではその大部分がめでたく解決された。それがために、ベネディクト16世はBa Ria 教区を開設しただけでなく、Bui Chu 教区の補佐司教に Pierre Nguyen Van De 師を任命することができたのだ。

## 司祭叙階

12月5日、セペ枢機卿はBa Ria 教区の開設と新司教の着座式を司式した。その一週間前には、上述のごとくハノイで57人の司祭を叙階した。新司祭は北部の八つの教区出身で、ヴェトナム北部は50年代の共産党政権以来、常に多くの困難を抱えてきた地方である。

この驚くべき出来事は政府との関係改善を如実に示しているが、それが実現したのは2004年6月に可決された宗教と信条に関する法令のおかげである。この法令によって、政府の事前の許可なしに司祭の叙階が可能になった。また、過去に地下で非公式に叙階された司祭を承認することも含まれている。

57人の内訳は、Bac Ninh 教区(5)、Bui Chu 教区(7)、Hanoi 教区(13)、Hai Phong 教区(3)、Hung Hoa 教区(10)、Phat Diem(9)、Thai Binh 教区(5)、Thanh Hoa 教区(10)で、カテドラルはこの「歴史的」出来事に参加しようと集まった無数の信者を収容することができなかった。多くの信者が遠隔地から訪れ、聖堂の外でスピーカーを通じてミサに与らねばならなかった。

他方、2月22日には南部のPhan Thiet 教区で二人の司祭の叙階が行われた。この叙階は最近の30年間ヴェトナムで起こったことの象徴的出来事と言える。新司祭 Michel Hoang Minh Hung と Joseph Nguyen Van Hien はそれぞれ1964年と1967年に神学校に入学したが、1975年の共産革命による神学校の閉鎖と叙階の禁止によって今日まで叙階を延期されたのであった。彼らはほとんど60に手が届く年齢になっていた。

上記の法令のおかげで、司教たちは自分の望みのままに司祭の人事を行うことができるようになった。これによって司祭のよりよい配置と教区の行政が可能になっている。

## 修道者

ヴェトナムには46の女子修道会と25の男子修道会が働いているが、ここ数年諸修道会もすばらしい召し出しの増加を目にしている。

3～4月にフランシスコ会の総長ホセ・ロゴリゲス・カルバリヨ師が同国を訪問した。師はクララ会の修道院の他、男子フランシスコ会の17の修道院のうち9つを訪れたが、これらの修道院には現在120人の終生誓願者、53人の有期誓願者、13人の修練者、93人の志願者がいる。

2005年にはカルメル会がホーチミン市に同国では初めての修道院（聖霊修道院）を開設した。そこの修道女は全員ヴェトナム人で、合衆国のFarmington Hills 修道院で修練を受けている。この修道院にはまだ数名が残っている。

たくさんの修道会への召し出しがあることの他に、よりよい未来を希望させる現実がある。

レデンプトール会の総長代理ジョージ・ダーリックス神父はこう説明する。「修道士にとっては現状はまだ厳しいものがある。たとえば、北ベトナムでは司祭の数が少なく、信者たちは50年前から受けていなかった宗教教育をやっと受け始めたばかりである。そのうち、我々宣教師に山のような仕事が与えられる時が来よう」と。レデンプトール会にとってベトナム管区はアジアで最も大きなもので、ここ数年修道士の数は増加の一途をたどっている。現在207人の修道士(100人が司祭)と83人の志願者がいる。

## 社会活動

「政府の役人は我々の仕事を検査するために何度もこちらに足を運んで来ました。しかし、我々はまったく心配していません。と言うのは、ここには腐敗も不正や違法行為など一切ないからです。検査はいつも無事に終わりました。いろいろと干渉を受けた末に、今では司祭がこの活動を続けることが許されるようになりました。」こう語るのは、ホーチミンにある、精神的肉体的障害を持つ子供の教育に携わる施設の責任者 Quoc Viet 神父である。

この施設は、教会がベトナムで推進している数多くの福祉事業の一つに過ぎない。教会は、老人、子供、障害者、母子家庭などのあらゆる弱者の世話を当たっている。

同様にエイズ患者(今日その数は約20万人に上る)も除外されていない。ホーチミン市の大司教 Pham Minh Man 枢機卿は以下のように書いた。「我々はこの病気が家族や社会に蔓延しないようにできるだけの努力を傾けねばならない。そして、患者が社会に片隅に追いやられることなく、普通の生活を送れるように愛情を注ぎ援助を与えねばならない。」

2月28日、共産党の新聞“Nhan Dan”は「労働者の英雄の称号を受けたある修道女の感動的な人生」という題の記事を発表した。それは Mai Thai Mau という名の、聖ビセンシオ・ア・ポール会の修道女で、1968年以来 Lam Dong 県の村でハンセン病患者の世話を一生を捧げている。共産党の公式の機関誌にこのような記事が出ること自体、教会の社会事業を政府が認め評価している証拠と言えよう。

\* \* \* \* \*

### ベトナムに関する基本的なデータ

面積：32万9千平方キロ 人口：8440万人(2006年)

宗教：仏教；9.3%。 カトリック；6.7%。 プロテスタント；0.5%。 無宗教；80.8%。

(1999年の統計)。しかし、これらの数字は現実を表しているとは言えない。様々な仏教の宗派に人口の半分が属し、また多くが家族の中では儒教や道教の風習に従っていると考えられている。・・ほとんど600万人いるカトリック信者は、全国に散在するが、南部においてより数が多い。